

AAINews

APPROPRIATE AGRICULTURE INTERNATIONAL CO., LTD

国際耕種株式会社

〒194-0013 東京都町田市原町田 1-2-3 アーベイン平本 403

TEL/FAX: 042-725-6250 Email: aai@sk9.so-net.ne.jp

タナ川のほとりで

ジャンボ！ この懐かしい響き！ 長らく遠ざかっていたケニアに再びやってきた。

1991年から92年にかけて、ケニアのタナデルタにおける国営農場建設計画に参加し、建設前環境影響調査を担当した。本プロジェクトは、ケニア国最大のタナ川の河口に広がるデルタを開拓して、機械化稲作事業を実施するものであり、建設のみならず農場運営、環境保全等を含めた広範な分野でケニア側機関を支援するものである。当該地域は野鳥や野生動物の重要な生息地にもなっており、こうした野生生物との共存を図りつつ開発を行っていくことが重要な課題であったため、建設前環境影響調査ではナイロビ大学、国立博物館、野生動物保護関連 NGO 等からの専門家によるチームを編成し、野生生物保護局や UNEP との連携のもとに現地調査やモニタリング計画策定作業を実施した。

昨年の夏以降エルニーニョの影響でタナ川が氾濫し、ほぼ建設が完了していたプロジェクトも大きな被害を受けた。そのため、今年の夏には復旧計画策定のための調査が実施されることになり、調査団員として再びタナデルタを訪れる機会を得た。プロジェクト・サイトは完全に圃場が整備され、事務所も立派になり、ライスミルや農業機械のワークショップが建ち並ぶのを見ると、やはり長い歳月が過ぎ去ったことを感じる。地域の人々の生活はようやく落ちつきを取り戻したところといった感じで、村のあちこちには明るい歌声が響いていた。しかしながら、洪水の爪痕は至る所で認められた。倒壊した家屋の補修や洪水期間には唯一の交通手段であったカヌー製造のために、森林の一部が破壊され、野生動物への影響も心配されている。また、長い間水が引かない地域では森林や果樹園の一部が枯死しはじめている。洪水期間中にはコレラが蔓延し、家畜の溺死や病死もかなりの数に上ったという。

こうした洪水被害を最小限に食い止めるために、プロジェクトに併設するクリニックだけでなく、プロジェクトに所属する車両やボートが救援物資や薬品の輸送に極めて重要な役割を果たした。また、本プロジェクトには、当初から環境モニタリング部や植林部が設けられており、プロジェクトの開始以来環境の監視や周辺地域での植林活動が続けられている。今回の洪水の影響で破壊された森林の再生に向けて、植林活動を展開しようとしている NGO もあり、こうした活動に対する支援も現在検討されている。我が国の協力によって実施されている本プロジェクトが、環境保全型の農業開発事業の好例となるように、今後共環境に充分配慮した開発を展開して行ってほしい。 (ケニアにて：大沼)



カヌーの製造



冠水被害を受けたマンゴ